生き活きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して

広報しらぬか No.1000 ANNIVERSARY

広報しらぬか 3

2020

Mar No.1000

Contents

2　広報しらぬか1000号のあゆみ
6　ふるさと写真館―未来へつなぐふるさとの思い出―
10　トップアスリートからアートビジネスへの転身（伊賀静雄さん）
14　第８次白糠町総合計画変更内容のお知らせ
28　久遠塾～君の世界に芽生えるものは～vol.09
29　ぬかづけ日記 連載⑦（地域おこし協力隊　北田さん）
32　楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2019　ふるさと納税賞受賞

笑顔輝くまちの未来に向けて

２月６日、庶路こども園の園児たちに協力してもらい、表紙の写真を撮影しました。園児たちが大人になるころには、どんな町になっているのでしょうか？笑顔輝く未来になるよう、広報「しらぬか」も1000号を機に、新たな一歩を踏み出していきます。





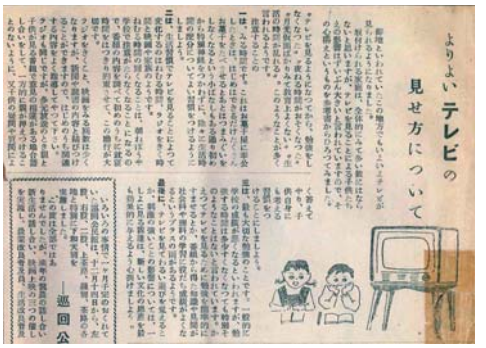
広報しらぬか 1000号のあゆみ

広報しらぬかは、今回で創刊1000号を迎えました。約70年という長い歴史を歩んでこられたのは、皆さんのご協力とご支援のおかげです。今回の特集では、町の歴史とともに歩んできた「広報しらぬか」の歴史をたどります。

創刊号　昭和 25 年 11 月 1 日発行



白糠が「村」から「町」になった昭和25年11月１日に、記念すべき創刊号が発刊されました。創刊号はタブロイド版で年４回の発行でした。創刊号を見ますと、青木金吾町長の言葉として「本町は東西７里南北14里におよび交通道路その他の関係上、調整自治の動静やあらゆる現況を身近に知悉することができないのを遺憾に思って申し訳なく感じておるのであります」とあります。町報「しらぬか」の発刊は、町制施行とともに町民が長く待望しているものでした。



PICK UP 46号　昭和35年。テレビが白糠町でも見られるようになりました。それを受けて、テレビが子どもたちにどのような影響を与えるのかを広報紙でお知らせしています。

100号　昭和 40 年 3 月 25 日発行



表紙は白糠小学校の１日入学の様子。この年の新入学児童は、町内の全学校合わせて３８０人でした。１００号には、農業についての体験や思いを発表する「農村教育青年会議」の全国大会に出場した、当時河原４Ｈクラブに在籍していた峯田幸子さんが取り上げられていました。４Ｈクラブでは、平成29年に開催された「全国青年農業者会議」で最優秀賞を受賞するなど、白糠町の農業をより良くしようという思いは、現在に受け継がれています。



PICK UP 118号　白糠町民憲章は、昭和42年の成人の日に生活の目標として公布制定されました。現在でもさまざまな場面で憲章の唱和が行われています。

200号　昭和 49 年 3 月 10 日発行



表紙は茶路中学校の３年生11人による卒業記念作品制作の様子。この頃は飲酒運転や無免許運転が多発しており、交通安全についての特集が組まれていました。

また、昭和48年に始まった「農業祭」の記事が掲載されていました。野菜の格安販売や家畜動物園、乗馬体験などが行われ、約３千人が来場する大イベントでした。同年には「第１回産業まつり」が開催されるなど、昭和40年代には農業や漁業などの基幹産業に関わるイベントが多く開催されていました。



PICK UP 284号　複雑な住所表示を一本化し、分かりやすい地名、地番に改めるため、昭和54年に字名改正が行われ、現在の「〇条〇丁目」の形式になりました。

300号　昭和 54 年 7 月 15 日発行



表紙はアイヌ弔魂碑の地鎮祭の様子。東山公園に建立された弔魂碑の前では、アイヌ三大祭りの「ふるさと祭」が行われています。

３００号には、町総合体育館の建設について掲載されていました。総合体育館が完成するまで、町内にはさまざまなスポーツに対応する施設がなかったことから、総合体育館の建設は町民の長年の夢でもありました。昭和55年に総合体育館が完成し、その際に広報で組まれた特集には、町民の喜びの声が掲載されました。



PICK UP 393号　本町は、昭和58年に開基百年を迎えました。現在の役場庁舎はそれに合わせて建設され、完成するまではプレハブの仮庁舎で仕事をしていました。

400号　昭和 58 年 9 月 15 日発行



表紙は、町内会対抗婦人ソフトボール大会の様子です。家族総出で応援に来るなど、大変人気のイベントでした。

４００号が発行された昭和58年は、白糠線の廃止が決定した年ですが、町内ではさまざまなイベントが開催されていました。白糠駅から３００人の乗客を乗せた「ビヤホール列車の旅」では、積み込まれた1000本以上のビールがあっという間に消えたとか。発展的解消をする白糠線に暗いイメージはありませんでした。



PICK UP 449号　特集「シカとカカシとファッションショー」。暁の畑には「いつも人がいっぱいいる」と風のうわさを聞いて広報係が調査。正体は鹿よけのカカシが服を着ている姿でした。

500号　昭和 62 年 11 月 15 日発行



表紙は、シシャモ漁最盛期となる11月に船からシシャモを積み下ろしているところです。１カ月という短い期間だけ見られるこの光景は今も変わっていません。

昭和62年に「ギネス白糠ビックリ記録会」が初開催されました。まず名前にビックリなこのイベントは、幅広い年齢層の町民が参加し、約10種目の競技で好記録を目指すものでした。記録会ではイノキに挑戦（ヒンズースクワット）、ガンバレジョイナー（背走50m）など、数々のユニークな競技が行われていました。



PICK UP 591号　毎回趣向を凝らした仮装が披露されていた「ライブラリー白糠盆踊り大会」。このときの優勝は、加藤優希さんの「ホタルイカ君」でした。

600号　平成 4 年 1 月 15 日発行



表紙は九合の山にできたスキーランドでソリ遊びをする子どもたちの様子です。同年は、バルセロナオリンピックの柔道60㌔級日本代表として出場した、本町出身者初のオリンピック選手である越野忠則さんが銅メダルを獲得した年です。当時、社会福祉センターではパブリックビューイングが行われ、たくさんの町民が応援に駆け付けました。越野さんの帰郷の際には、盛大に凱旋パレードが行われたほか、第１号となる町民栄誉賞が贈られました。



PICK UP 613号　恋問館・メイクセンターが待望のオープン。恋問館の外観は「機関車」をモチーフにしているそうです。皆さん、知っていましたか？

700号　平成 8 年 3 月 15 日発行



表紙は町民将棋大会の様子です。９回目となる同大会は、羽生名人ブームの影響で小中学生の出場者数が最高となりました。平成14年に、道内屈指の難コースといわれている「パークゴルフインチャロ」がオープンしました。同コースは、プロゴルファー丸山茂樹さんの父親丸山護さんが設計しました。オープンセレモニーと同時に開催された町民大会では、男子は佐藤博祐さん、女子は原チエさんが優勝し、オープン記念大会に名を刻みました。



PICK UP 706号　初当選した棚野町長の初登庁。「町づくりは町民が主役」と第一歩を踏み出しました。また、特集では千葉前町長の思いなどが語られています。

800号　平成 15 年 6 月 25 日発行



表紙は「潮さい合唱団の記念公演」で行われた音楽劇に主演した小さなオペラ歌手たちです。

８００号は、ごみの有料化について特集が組まれていました。また、ごみの減量のため、生ごみを「たい肥化」し、土に返す「ダンボールコンポスト」が７９８号で紹介されていました。当時は多くの家庭で実践されていたようですが、現在はどうなのでしょうか…。気になる方は、ホームページを見ると詳しく作り方などが分かりますので、調べてみてください。



PICK UP 866号　全道中学校かべ新聞コンクールで庶路中学校の２年生が大賞を受賞しました。この年は３年生も準大賞を受賞し、同校初のダブル受賞となりました。

900号　平成 23 年 9 月 30 日発行



表紙は、ぐるっと庶路ダム紅葉ウオークの様子です。美しい紅葉と庶路ダムを見るために毎年町内外から多くの方が参加しています。

９００号は、本町でおこなっている外国語教育（ＥＣタイム）について、特集が組まれていました。現在、ＥＣタイムを担当する外国語指導助手（ＡＬＴ）は３人で、小中学校のほか保育所でも英語と中国語の指導を行っています。また、同年に東日本大震災が発生したことから、その教訓を生かすための特集も組まれていました。



PICK UP 934号　恋問館のオリジナルキャラクター「コイタくんとメイカちゃん」の着ぐるみが初お披露目。コイタくんとメイカちゃんの周りには、笑顔の子どもたち集まってきました。

いくつ探せるかな？

広報しらぬか「1000 号記念」もじさがし

・マスの中に地名や特産など、白糠に関わる言葉が隠れています。
・タテ、ヨコ、ななめ、どの方向に読んでもＯＫです。
・濁音（”）や半濁点（°）、小書き文字になる所には色がついています。
・ひとつの言葉の中に他の言葉が含まれることはありません。
・線で囲われている言葉は「せんごうきねん」です。「こ」に濁点が付くので、色が付いています。

言葉はいくつ隠れているでしょうか。ぜひ探してみてください。
正解は来月号でお知らせします。

し	か	も	ぬ	ひ	つ	し	こ	ほ	う
ふ	ら	り	や	か	う	け	い	く	ら
る	わ	と	ろ	し	ら	ぬ	か	ら	と
せ	て	お	さ	や	し	い	く	に	う
す	ん	ま	て	ま	ち	へ	し	そ	た
ら	へ	こ	の	ゆ	か	つ	ぬ	や	い
し	つ	ぬ	う	し	い	た	し	な	つ
き	ら	み	よ	き	か	と	ん	き	ふ
と	こ	め	い	か	ね	こ	い	た	ら
し	よ	ろ	た	む	か	ん	ら	こ	か



昭和30年代に東山から撮影された町並み。現在船着き場となっている場所には砂浜が広がっており、海で遊んでいる人々の様子が見て取れます。

ふるさと写真館
～未来へつなぐふるさとの思い出～

人々の暮らしや町の移り変わりを切り取ってきた「写真」には、当時の思い出や町の魅力がたくさん詰まっています。思い出を振り返るとともに町の魅力を再発見し、未来へ語り継ぎましょう。



現在の町並み



昭和 20 年代

国道38号線。当時はまだコンクリート舗装もされていませんでした。車の数もあまりありませんでした。



昭和 25 年

戦後初の白糠駒踊り。駒踊りは進化しながら代々受け継がれ、昨年１００周年を迎えました。



昭和 30 年代

シシャモの加工作業の様子。今も昔も変わらず、１匹ずつ手作業で串に通しています。



昭和 25 年

町制施行記念式典の様子。長年町制施行を心待ちにしていた住民たちは、３日間昼夜を問わず祝い続けたとか。

写真で振り返る白糠町



昭和 35 年

昭和32年に初開催された商工祭の仮装パレードの様子。町制10周年ということもあり、盛大に行われました。



昭和 30 年代

駅前の交差点。道路が整備され車も普及し始め、商店街もさまざまな店舗が立ち並んでいました。



昭和 32 年

白糠線着工記念の時代風俗行列。写真は織田信長、豊臣秀吉など、戦国武将に扮しています。



昭和 30 年代

駅前にあった富山館という旅館。この頃は駅前の交差点周辺にたくさんの旅館がありました。



昭和 49 年

昭和48年にはじまった農業祭の様子。家畜動物園や野菜の格安販売などが行われる人気イベントでした。



昭和 49 年

第１回乳呑公園桜まつりの様子。初開催ながら4000人が来場しました。この公園は井出武さん、誠さん、泰さんの３兄弟から寄贈されたものです。



昭和 40 年代

プリンス映劇。まだ娯楽が少なかったことから、映画鑑賞が唯一の楽しみという人がたくさんいました。

ふるさと写真館
～未来へつなぐふるさとの思い出～



昭和 52 年

町内会の子ども会対抗の野球大会。町内会員総出で応援に駆け付ける人気イベントでした。



昭和 52 年

平和・錦・旭商店街通りで開催された買い物公園。町で初めて行った歩行者天国で、これが商工まつりやカミングパラダイスへと引き継がれています。



昭和 55 年

第１回ししゃも祭の様子。当時はすべての儀式が屋外で行われていました。



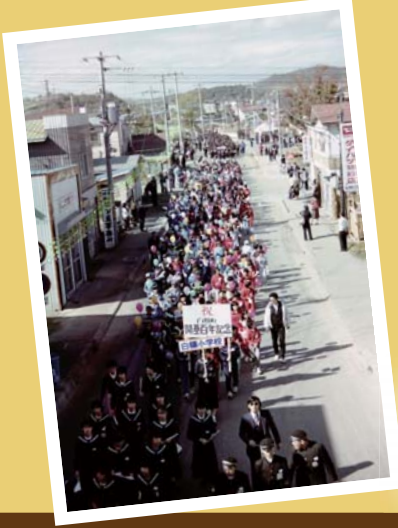
昭和 56 年

釧路カートランド庶路コースで行われたカートレース北海道シリーズ。カートレースはミニ四輪車による競技でこの時期に急激に人気になりました。



昭和 58 年

白糠線「さよなら列車」。沿線の人たちも農作業の手を休めて列車に手を振っていました。



昭和 59 年

開基１００周年を記念して行われたパレード。各学校、町内会などさまざまな団体が参加しました。



昭和 59 年

昭和56年から平成５年まで東山で行われていた桜祭り。日本で一番遅い桜祭りとして有名でした。

写真で振り返る白糠町





平成元年

パシクル湖で行われた「第１回パシクル湖氷上フェスティバル」。目玉企画の氷上綱引き大会では、副賞の新車を巡って熱い戦いが繰り広げられました。



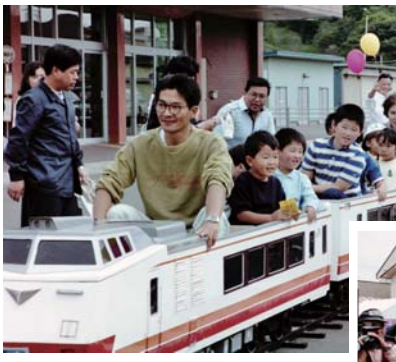
平成３年

ハミングロードのテープカットの様子。同年には全国初の広告景観優良地区に選ばれました。



平成７年

道東各地から集まった力自慢の馬達が激闘を繰り広げた「輓馬競技大会」。





平成５年

第１回カミングパラダイスの様子。当時は現金つかみ取りが大人気企画でした。





平成 12 年

町制50周年を記念して開催された「こども王国」。５日間にわたり行われ、この期間中、子どもはわがまま言い放題？だったそうです。



平成９年

第１回大漁まつりでの遊覧航海。平成９年は「たまごっち」が大流行した年。手に握ったまま船に乗り込む子どももいたとか。



平成 11 年

新栄町内会の子どもみこしが旧清和園を慰問。子どもみこしは昭和63年にはじまりました。

「白糠町の昔の写真」の募集にあたり、写真をお寄せいただいた皆さん、ありがとうございました。

白糠の懐かしい風景や建物、産業、行事などの写真を通して、白糠の魅力を再発見することはできたでしょうか？

今回お寄せいただいたすべての写真を掲載することができず残念ですが、町の歴史を伝えるための貴重な資料として大切に保存させていただきます。

広報1000号記念　特別インタビュー

ショートトラック・スピードスケート世界記録樹立　伊賀静雄さん

トップアスリートからアートビジネスへの転身

――1978年（昭和53年）にイギリスのソリフルで開催された国際スケート連盟（ISU）主催の「ISUショートトラック・スピードスケート選手権大会1500m」で2分35秒18という世界記録を樹立しました。この大会のことをお聞かせください。

伊賀静雄（以下：**伊賀**）この大会はゴール寸前で転倒し2位でした。このときはスケートのブレードがゴールラインを通過した段階で記録になっていましたので、それで公認されました。ショートトラックという種目は反則が多く、このときも隣の選手に押されて転びました。すぐにクレームを付けましたので、相手選手は失格になったはずです。

――同年、ベルギーで開催された国際大会時の3000mでも日本新記録を出しました。こうした数々の記録を出したスピードスケートですが、スケートを始めたきっかけは何だったのですか？

伊賀：小学生のころ、当時は今よりも寒かったと思いますが、茶路川が凍っていたので、そこでスケートをしていました。「下駄スケート」という長靴に紐で刃を縛り付けたものを履いて遊んでいました。それが始まりです。白糠中学校はグラウンドに水をまいて結氷させ、体育の授業でスケートをしていました。私が25歳くらいのときの話ですが、当時白糠中学校にいた吉田哲之先生に頼まれて、白糠中学校のスケート教室で講師を務めたこともあります。

――伊賀さんは中学卒業後、上京しました。不安な気持ちもあったと思いますが。

伊賀：実家は和天別駒越で酪農家をやっていました。6人きょうだいでしたし、お金がなかったので、高校に行きたくても行けない時代でした。それで東京の築地に集団就職しました。朝の2時半くらいに起きて、魚河岸という市場で働いていました。寝坊してよく殴られましたよ(笑)。今のようなパワーハラスメントとかはなくて、殴られて仕事を覚えるというか、激励のパンチだと思っていました。

――そのような厳しい生活の中で、どのようにしてスケート選手になったのでしょうか。

伊賀：晴海埠頭に国際貿易センターというところがあり、そこが冬になると1周300mくらいのスケートセンターになるんです。そこへ仕事が終わると遊びに行っていました。ある日、いつものようにスケートを滑っていると、江東商業高等学校で



●プロフィール●　いが　しずお

1950年12月 9日白糠町生まれ。中央大学法学部通信課程中退。15歳で上京し、築地の魚問屋に就職。その後、書店などを経て1967年に孔雀画廊へ就職する。1978年にショートトラックスピードスケート世界大会の1500mで世界記録を樹立。1983年に東京都スポーツ功労賞を受賞。妻と一男一女。

スケートを教えていた富田玲子先生に呼び止められて「随分スケートが上手だけれど、どこの高校生？」と聞かれました。私は「高校には行っていません。仕事をして実家に仕送りをしなければなりませんから」と言うと「高校には行った方がいい、定時制の高校なら、仕事もスケートもできるから」と言うのです。スケートセンターに行くたびに富田先生から高校に行った方がいいと勧められました。それで、どうしようかなと、子どもながらによく考えたと思います。白糠中学校の吉田哲之先生に相談の手紙を書きました。するとすぐに返事が返ってきて「やっと勉強する気になったか」と書いてありました(笑)。自分は「スケートでチャレンジしてみたい」と説明すると、吉田先生が「分かった。手続きは全部やってあげるから挑戦してみなさい」と言ってくれまして。それで翌年、京橋商業高等学校という定時制高校に入学しました。



総合体育館に設置されている伊賀さんのメモリアルコーナー。
貴重な品が数多く展示されていますので、ぜひご覧ください。

――仕事が終わってから学校へ通い、さらにスケートの練習もして、大変だったと思うのですが。

伊賀：大変でした。朝2時半に起きて仕事をして、17時から21時までは学校、その後23時までスケートの練習をして、40分くらいかけて家へ帰るという生活をしていました。麻布高等学校という進学校の生徒たちと帰りのバスが一緒になるのですが、その生徒たちが「将来は弁護士になる」「俺は裁判官になる」といった話をしているのが聞こえてくるんです。私は築地で仕事をしていましたから、社会的な部分では勝てないなと思うわけです。でもスケートでは負けないぞと、そういう信念のもとで頑張っていました。



――体力もすごいのですが、精神面も強かったのですね。

伊賀：若かったので体力はありましたが、体重はどんどん減っていき、45kgくらいまで痩せました。私があまりにも痩せていくので、数学の遠藤先生が「どんな生活をしているんだ」と聞いてきました。それで一日の流れを説明すると、遠藤先生が涙を流しながら「何とかしていい仕事を探してやる」と言って、後日、健康器具の会社を紹介してくれました。そこの出社時間は8時でしたので、一気に楽になりました。

――それでも大変ですよね。

伊賀：ええ。それで、遠藤先生がまた別の職場を紹介してくれました。そこが京橋書店という本屋さんでした。そこは出社時間が9時半でしたので楽ですよね。体力もついてくるし、勉強もできる、スケートもできると、一つ一つが充実してできるようになりました。そこからどうやって絵の仕事に転身したかということですが、京橋書店では本のセールスの仕事をしていました。いろいろな企業に営業に行くわけです。熱心に通ううちに、一冊2万円とか5万円する「全集」を買ってもらえるようになりました。「孔雀画廊」という画廊にも美術全集を売りに営業に行きました。何回も行くんです。そうすると画廊の小関文吾社長が「随分頑張り屋だな、うちで働かないか」と言うのです。今でいうヘッドハンティングですね。私が18歳のころの話です。

――スポーツのほかにも、そうした才能をお持ちだったのですね。「孔雀画廊」では、スケートと仕事との両立に理解が得られたのでしょうか。

伊賀：スケートで国民体育大会やインターハイに行くと、仕事を2週間くらい休まなければなりません。小関社長にそのことを話すと、小関社長は快く「大丈夫だよ」と承諾してくれました。もちろん、京橋書店の太田社長にも話をしました。太田社長も「君の将来のためになるなら」と快諾してくれました。それで、孔雀画廊に勤めることにしました。画廊の出社時間は10時半でしたので、すごく楽になりました。そうすると、スケートもどんどん上達していきました。全国高等学校体育連盟などの東京都で行われた大会は、ほとんど優勝していたと思います。

――思い出に残っている大会は、どの大会ですか。

伊賀：100近く大会に出場していましたので、全部は覚えていませんが、よく覚えているのは、帯広市で開かれた高校1回目のインターハイです。「伊賀」という名前がコールされると、会場がざわざわしたのを覚えています。私のスケート人生は、帯広市でスタートしましたので、思い出の地は、やはり道東です。1970年に広島で開催された全日本ショートトラック・スピードスケート競技会もよく覚えています。私が20歳で日本記録を出した大会です。

――20歳のころに日本記録を出していたのですね。

伊賀：高校が一年遅れましたので、卒業したのは20歳のころです。そのときには日本記録を出していました。大学からスカウトも来ましたが、お金がなかったので大学には行けませんでした。それで8年間、通信教育を受けていたのですが、仕事が忙しくなり途中で断念しました。それでも自分でいろいろな勉強をしました。心理学なども学びました。いろんな方が絵を買いますので、あらゆる知識を身に付けておく必要があるのです。日々学ぶのは、勉強でもスポーツでも政治でも、何でもみんな同じだと思います。

――引退されたのは、何歳のときですか？

伊賀：仕事が忙しくなり、28歳で現役を引退したのですが、35歳のころに国民体育大会で「成年B」という部門ができまして、それで35歳で現役復帰しました(笑)。1988年、群馬県伊香保町で開催された国民体育大会「成年B」1500mで2位になったのを最後に、38歳で引退しました。

――引退されるまで、仕事とスケートの両立は、本当に大変だったと思います。1985年に「孔雀画廊」の看板を継ぎ、独立されました。絵の仕事をしていると、いろいろな方との関わりが多くあると思いますが。

伊賀：孔雀画廊のパンフレットに、日本画の大家である東山魁夷先生と私が一緒に写っているのですが、先生に同行させていただいたということが、スケートで世界記録をつくったよりもすごいことだと思っています。それくらいすごい画家です。1977年に世界ショートトラック・スピードスケート大会がフランスのグルノーブルで開催されたのですが、ちょうどそのときにフランスのパリにあるプティ・パレ美術館で東山魁夷展をやっていました。私は宿舎から抜け出して見に行きました。この個展は、レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナリザ」が日本に来たお返しにと、フランスで開催されたものです。東山魁夷先生は、奈良の唐招提寺に鑑真和上坐像が安置されているのですが、その御影堂内の襖絵を描いた方で、その作品をフランスに持って行ったのです。本当に素晴らしく、感動しました。同じくパンフレットに杉山寧先生という方が出ていますが、この方は三島由紀夫の義父で、私が30代のときにお付き合いが



東京都中央区にある「孔雀画廊」のパンフレット。

ありました。一番薫陶を受けたのは、高橋政知さんといって、東京ディズニーランドをつくった方です。ディズニーランド建設のため、本来であれば10年以上かかる浦安の土地開発を、高橋さんはたったの3年でクリアしたのです。高橋さんが56歳で私が20歳のときにお会いしました。高橋さんは私に「限界を試せ」と言いました。私がスケートで一層頑張るようになったのは、高橋さんとの出会いがあったからです。私は人生とは「人と人との出会い」だと思っています。スケートをやることになったのは富田先生との出会いがあったからです。あとは応援、激励してくれる人です。おふくろや仕事を紹介してくれた遠藤先生、ディズニーランドをつくった高橋さん、こうした人たちと出会うことができて本当に良かったと思います。この出会いがなければ、今日の私はいません。



――ありがとうございました。最後に、今の伊賀さんの夢は何ですか。

伊賀：私は「日本床の間保存会」の会長を務めておりますが、日本の各家庭に床の間が再現されるのが夢です。今は、ほとんどの家に床の間がありません。ですが、床の間というのは、日本文化の基本中の基本なんです。江戸時代には、元服の式が床の間で行われていました。外国の方は「日本は家の中に美術館がある」と言って驚きます。何を言っているのかというと「床の間」のことを言っているのです。床の間に絵が掛けられ、陶芸や刀が飾ってあり、書院がある。すごくおしゃれだと言うのです。日本の文化に興味を持っている外国の方はたくさんいます。ですから、床の間を日本人として誇りに思える、こうした日本の風情を大切にしていきたいと思っています。

　もう一つは、アマチュアスポーツ基金(以下、アマスポ基金)の設立です。「全日本アマチュアスポーツ支援プロジェクト」というものを立ち上げて、アマスポ基金の設立に向けて、署名活動をしています。アマスポ基金というのは、スポーツ選手の年金制度です。たとえば、砲丸投げや走り幅跳びといったマイナースポーツの選手が、将来アマスポ基金から年金がもらえるようになると、メジャースポーツ選手もマイナースポーツ選手も同等になるんです、年金の金額は一緒ですから。そうすると、マイナースポーツをやる選手も増えるし、夢が持てる。今はスポーツで企業に就職しても引退後に同じ企業にいられる選手は一握りです。引退後に新たな就職先が見つからなかったり、就職先が見つかっても収入が減ってしまうという方が大勢いるのです。スポーツで企業に就職し、何十年もそればかりやっていますから、スポーツ以外にできることがない。プロ野球の選手でもそうですよね。そういう方々を救う制度が必要なのです。また、スポーツの指導者もそうです。ボランティアでやっている方がたくさんいますから、指導者もアマスポ基金で年金がもらえるようにするのです。そうすると、スポーツにもっと夢が広がりますよね。日本卓球連盟や水泳連盟の方にも署名をしていただきました。白糠にも署名簿を持っていきますので、そのときは皆さんもぜひ署名してください。





公民館の２階には「孔雀画廊美術書コーナー」が設置されています。伊賀さんから寄贈された美術全集がたくさん展示されていますので、ぜひご覧ください。

第８次白糠町総合計画実行計画（前期実行計画）変更内容のお知らせ



第８次白糠町総合計画（前期実行計画）は、平成30年度からの５年間でまちが予定している仕事（事務事業）の内容を定めたものです。まちの仕事は、計画書に掲載した内容から変更することがありますので、変更した理由や内容を町民の皆さんに公表していくこととしています。

今回お知らせするのは、令和元年度で変更等が確定した事務事業です。変更等の内容は「第８次白糠町総合計画」の冊子に貼り付けができるよう「別紙」として、今月号の広報と併せて配布していますので、ご活用ください。なお、「第８次白糠町総合計画」の冊子は、平成30年３月に各戸へ配布しています。

問合先●役場企画財政課企画調整係　☎２－２１７１（内線２３５）

掲載ページ	事業番号	事務事業名	変更区分	変更した理由や内容
31	1-1-6	26　白中北通りの整備	追　加	白中北通りは、移転が計画されている白糠小学校ならびに白糠保育園の通学路・通園路としての機能や災害時に避難所へアクセスするための重要な路線となることから、車道および歩道の整備を実施します。
31	1-1-6	27　西庶路新朝日１号通りの整備	追　加	西庶路新朝日１号通りは、老朽化していることから改良・舗装工事を実施し、住民の住環境の向上と生活の利便性を図ります。
31	1-1-6	28　西庶路花園２番通りの整備	追　加	西庶路花園２番通りは、老朽化していることから改良・舗装工事を実施し、住民の住環境の向上と生活の利便性を図ります。
37	1-4-2	4　防災行政無線の維持管理・拡充	変　更	屋内でも防災情報を正確に伝達する必要があることから、移動系防災行政無線を転用した戸別受信機を整備し、速やかな避難行動を促すとともに防災意識の向上を図ります。
49	2-4-1	3　公園の整備	変　更	自然公園は、老朽化していることから施設整備を実施し、安全に安心して利用できる環境づくりを図ります。
56	3-1-2	3　母子の支援	変　更	助産師による専門的な妊産婦の心身のケア、授乳の支援、育児相談を実施し、妊娠から出産後まで安心して子育てができる支援体制を整備します。
59	3-3-1	3　高齢者の社会参加の促進	変　更	高齢者の健康づくりやふれあい・相互交流を推進するため、日帰り温泉事業を実施し、高齢者福祉の増進を図ります。



掲載ページ	事業番号	事務事業名	変更区分	変更した理由や内容
59	3-3-1	4　高齢者活動の推進	変　更	高齢者の生きがいや健康づくりを推進する団体等の活動を支援するため、社会福祉センター、西庶路コミュニティセンター、庶路町民センターにカラオケ機器を設置し、高齢者福祉の増進を図ります。
65	3-5-1	13　子ども発達支援センターの改築	追　加	子ども発達支援センターは、白糠中学校を改修した小中学校統合校舎に併設し、０歳から15歳までの一貫した教育環境を整備します。
65	3-5-1	14　白糠保育園の改築	追　加	白糠保育園は、白糠中学校を改修した小中学校統合校舎に併設し、０歳から15歳までの一貫した教育環境を整備します。
71	4-2-2	5　北海道白糠高等学校の魅力化に係る支援	変　更	これまでの取組に加え、都市部の大学生と交流する機会を設けます。異なる考え方に触れることで、白糠高校生の視野を広げるきっかけづくりに努めます。
72	4-2-5	2　外国語によるコミュニケーション能力の育成	変　更	これまでの取組に加え、青少年の海外研修を実施し、次代を担う青少年の外国語によるコミュニケーション能力向上の推進に努めます。
74	4-2-8	2　白糠小・中学校の改修等	変　更	白糠小学校を白糠中学校に移転統合することを決定したことから、改修に向けた具体的な取組と実施年次を追加します。
75	4-2-9	3　フッ化物洗口の実施	変　更	対象学年を小学生から中学生までに拡充し、健康で活力に満ちた児童生徒の育成に努めます。
76	4-2-9	9　スクールバスの更新	変　更	適正な維持管理により、令和２年度に更新する予定のスクールバスを１年順延します。
101	5-5-1	1　移住・定住の推進	変　更	これまでの取組に加え、移住促進イベントに参加し、さらなる町のＰＲや魅力発信に努めるとともに、移住・定住を推進します。
102	5-6-1	4　しらぬかＰＲ事業の推進	変　更	交流人口や関係人口の拡大および移住・定住人口の増加を図るため「しらぬかフォトコンテスト」を実施します。
110	6-2-2	5　地域集会所の改築	変　更	地域コミュニティ活動の拠点および児童館として運用しているやまびこ会館は、築後30年が経過し、大規模な補修が必要なことから、施設の今後の運営方法を見直すとともに、改修を検討します。
116	6-4-6	3　住民税・諸税の課税	変　更	税制改正により、軽自動車税に「環境性能割」が創設され、現行の軽自動車税は「種別割」へと名称が変更となったことから、取組内容を変更します。

TOPIC 1 1/19

自慢の逸品が勢揃い

第23回味技フェスしらぬか



第23回味技フェスしらぬかが社会福祉センターで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

味技フェスには、商工会女性部や白糠高校など10団体が参加し、白糠の食材を使った料理を出品しました。試食会が始まると各団体の前には行列ができ、用意した料理があっという間になくなりました。釧路町から訪れた林真衣子さんは「関西出身なので白糠町の食材は知らなかったけど、とてもおいしかったです」と笑顔で話していました。

TOPIC 2 1/26

町のさらなる飛躍と発展を目指して

白糠町女性団体新春のつどい



町女性連絡協議会（池田昭子会長）が主催する「女性団体新春のつどい」が社会福祉センターで開かれ、商工会女性部や漁協女性部など５団体の会員や来賓など約70人が出席し、町のさらなる飛躍と発展を目指して活躍することを誓いました。

池田会長は、昨年相次いだ自然災害に触れ「子どもから高齢者までを見守ることが必要」と強調。その上で「あらゆる立場での研修と活動を展開していかなければならない」と話していました。

TOPIC 3 1/27

簡単スポーツ「ボッチャ」笑顔で楽しくプレー

エンジョイスポーツ教室「ボッチャ」



16歳以上の町民を対象にしたエンジョイスポーツ教室「ボッチャ」を総合体育館で開催しました。

ボッチャは、目標球と呼ばれる白いボールをめがけ、赤と青のボールを交互に送球し、いかに相手より近づけるかを競う競技です。この日は20人が参加。釧路市社会福祉協議会の藤倉裕康さんからルールを学んだ後、３対３の団体戦で試合を行いました。投げた球が目標球にぴたりと寄せられると、参加者たちから大きな拍手が送られました。

TOPIC 4/2

小中学生下の句かるた熱戦

小中学生下の句かるた大会



第41回小中学生下の句かるた大会を公民館で開催しました。今年は３人一組の13チームが参加。大会は中学生、小学校高学年、同低学年の３部門に分かれたトーナメント戦で行われ、子どもたちは下の句が読み上げられると、真剣な表情になり木札を追っていました。白糠小４年の渡邊心暖さん（写真中央）は「３位だったけど面白かった。たくさん札をとれて良かった」と笑顔でした。

各部門の上位３チームは下記に掲載しています。

TOPIC 5/2

災害から命を守るために

白糠町防災訓練



栄本町・栄１区・幸の３町内会を対象とした防災訓練を行いました。この日は、町民をはじめ、白糠支署の消防署員や白糠消防団第１分団の団員など約１５０人が参加しました。避難所となった総合体育館では、夜間に停電している避難所を想定し、灯光器の明かりだけで非常食を食べる体験が行われました。また、防災啓発用シミュレーション動画も上映され、参加者は自然災害の恐ろしさや命を守るための行動を再確認していました。

TOPIC 6/2

木のおもちゃで木育推進

庶路学園へ木のおもちゃ寄贈



北海道森林組合連合会と農林中央金庫が、庶路こども園に道産材で作られた木のおもちゃを寄贈しました。道森連の松井廣道副会長理事は「木のぬくもりと、香りがもたらす安らぎを感じてほしい」、農林中央金庫の中村剛崇北海道営業部長は「木と人との関係を考えていけるような、豊かな感性と心を育んでもらいたい」とそれぞれ話していました。おもちゃを受け取った園児たちは、木の人形や積木などで、友だちと仲良く遊びました。

小中学生下の句かるた大会結果

中学生の部	①One Team	②MTC	
小・高学年の部	①燃えるぜ３人組！	②KMY	③one team
小・低学年の部	①とらどしチーム	②トリプルK☆	③なかよしチーム

TOPIC 1 2/8

奥深い石ころの世界

土曜サロン「石ころのおはなし」

教育委員会が土曜サロン「甲斐先生の石ころのおはなし」を公民館で開催しました。

この日は10人が参加。講師の甲斐智晴さん（写真左から３人目）は「石ころの種類によって、近くに火山があることや昔はこの辺りが海だったということが分かる」などと、その土地の環境や変化を説明しました。また、偏光顕微鏡による結晶の観察では、さまざまな色に変化する美しい結晶に、参加者から歓声が上がっていました。



TOPIC 2 2/9-11

寄付者とのつながり大切に

ふるさと納税感謝祭2020

本町にふるさと納税をされた方を対象に「ふるさと納税感謝祭2020」を９～11日の３日間（各日昼と夜の計６回）丸の内フレンチレストラン「サンス・エ・サヴール」で開催しました。抽選で選ばれた約３８０人が、白糠食材をメインに使用したフレンチフルコースを味わいました。埼玉県在住の50代男性は「素晴らしいイベント。白糠に行ってみたくなりました」と笑顔で話していました。


①


③


②



⑤


④

①棚野町長は「寄付金は、子どもや孫へ贈る大切な財産として、先人の苦労や思いを受け止めながら使っていきます」とあいさつしました。②レストランの鴨田猛料理長は「白糠の食材は、その一つ一つがいろいろな味わいに変化していく。本当に素晴らしい食材」と話していました。③会場には、食材を手掛ける生産者も来場。食材の特徴などを説明しました。④約83倍の倍率で当選された来場者は、フレンチフルコース料理を堪能。２月12日～３月16日まで、京都杉並区の荻窪にある焼き鳥店「鳥もと本店」でも別コースで感謝祭を実施しています。⑤世界的なモデルの冨永愛さんをゲストに招きました。冨永さんが出演していたドラマに「馬木葉」の鹿肉が使われたという縁で今回の出演が実現しました。

TOPIC 3 2/9

冬場の運動不足解消と体力づくり

第27回白糠玉入れ大会

町スポーツ推進委員会（坂本勝雄会長）主催の「第27回白糠玉入れ大会」が総合体育館で行われ、10チーム57人が熱戦を繰り広げました。

年齢別の４部門に分かれて競技。参加者は、かごをめがけて一生懸命に玉を投げ入れていました。

小学校低学年の部で優勝したチーム「ししゃも＆さけ」の野澤愛來ちゃん（白糠小２年）は「たくさん玉が入って楽しかった。全勝で優勝できたのでうれしい」と笑顔でした。



TOPIC 4 2/11

アイヌ文化を気軽に体験

アイヌ文様刺しゅう体験講座

アイヌ文様刺しゅう体験講座がウレシパチセで行われ、参加者が伝統の刺しゅうに挑戦しました。

講座は、全５回のコースでランチョンマットに刺しゅうを施すものです。初日となるこの日は、町民11人が参加し、町アイヌ文化保存会の会員３人からコツを教わりながら「オホ（チェーンステッチ）」や「アイウシ（とげ）」と呼ばれる伝統的な文様の刺しゅうを、一針一針丁寧に縫い上げていました。



TOPIC 5 2/15

男女の出会いの場を提供

ワインとチーズと恋するタベ

男女に出会いの場を提供するとともに、白糠の食と食材をＰＲする恋愛応援企画「ワインとチーズと恋するタベ」を振興センターで開催しました。

今回が初開催となるこのイベントには、町内在住の男性18人と釧路市や釧路町に在住する女性15人が参加。サポーター役は「食と食材ＰＲ大使」のアンジェラ佐藤さんが務めました。参加者は、チーズやシカ肉といった料理とさまざまな種類のワインを堪能しながら交流を深めていました。



家畜を飼養されている方へ

次の家畜を飼養されている方は、家畜伝染病予防法に基づき、毎年２月１日現在の飼養状況や衛生管理状況等を北海道知事に報告することが義務付けられています。

報告期日および家畜の種類

・毎年４月15日まで：牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし
・毎年６月15日まで：鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

報告先●白糠町家畜畜産物衛生指導協議会（役場経済課農政係内）
※詳しくは役場経済課農政係へ問い合わせください
問合先●経済課農政係 内線（258）

令和２年度奨学生を募集します

経済的理由で進学が困難な方に、無利子で奨学金を貸与します。家族の収入や資金枠の関係で、貸与できない場合もあります

貸与金額●①大学30,000円以内
②短大22,000円以内
③高専・専修(専門)学校13,000円以内
④中等教育(後期)・高校・専修（高等）7,000円以内
申請期間●３月２日㈪～３月31日㈫
申請方法●教育委員会管理課総務係にある「奨学生願書」に必要事項を記入の上、提出してください。
償還期間●卒業後５年以内（大学は７年以内）
問合先●管理課総務係 内線（263）

３月１日～８日は女性の健康週間です

女性の体は「女性ホルモン」の作用により、年齢とともに大きく変化し、月経不順、乳がん、更年期障害など、さまざまな症状を引き起こすことがあります。釧路保健所では女性の健康に関する相談を受け付けていますので、ぜひ利用してください。

■女性の健康相談日

月一回、釧路保健所で実施しています（３月は５日㈭、４月以降の日程は釧路保健所に問い合わせください）相談は予約制ですので、事前に問い合わせください。

■女性の健康相談ダイヤル

平日の９時から17時まで受け付けています。電話で「女性の健康サポートセンター」と伝えると、担当保健師につながります。

問合先●釧路保健所 0154-65-5825

●白糠町役場 ☎ 01547－2－2171
●庶路支所 ☎ 01547－5－2030

自衛官を募集します

種目●①予備自衛官補（一般）②予備自衛官補（技能）③一般幹部候補生（陸・海・空・飛行要員）
資格●①18歳以上34歳未満の方②18歳以上で保有する技能に応じ53歳から55歳未満の方③22歳以上26歳未満で大学卒業程度の学力を有する方
受付期限●①・②は４月10日㈮まで
③は５月１日㈮まで
試験日●①４月18日㈯～20日㈪の間で指定された１日・②４月19日㈰・③５月９日㈯・10日㈰（10日は飛行要員のみ）
※試験会場等の詳細は問い合わせください
問合先●自衛隊帯広地方協力本部 釧路出張所
☎0154-22-1053

国民年金に関するお知らせ

■国民年金の加入方法

国民年金は、日本に住んでいる20歳以上60歳未満の全ての方が加入する制度です。

加入者は、職業によって第１号被保険者から第３号被保険者までの３つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

■国民年金保険料学生納付特例制度について

国民年金は、20歳以上であれば、学生も加入しなければなりません。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象は、大学（大学院）、短期大学などに在学する学生で、本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

所得額●１１８万円＋（扶養親族等の数×38万円）

制度の承認期間は４月から翌年３月までとなります。承認を受けた次の年度も在学予定である場合は、４月初めに再申請の用紙が届きますので、継続を希望する方は必要事項を記入の上、返送してください。

■年金事務所での手続きには予約相談を利用してください

年金相談の際に事前に予約をしていただくと、相談内容にあったスタッフが事前に準備をし丁寧に対応することができますので、ぜひ利用してください。

問合先●釧路年金事務所 ☎0154-22-5810
町民サービス課保険年金係 内線（523）

後期高齢者医療制度のお知らせ

北海道後期高齢者医療広域連合では、住民の代表として、制度運営に関する事項を協議していただく運営協議会委員を募集しています。

応募資格●道内在住の満20歳以上の方（議員や公務員等を除く）
募集人数●５人
任期●令和２年７月から２年間（協議会は年２～３回の開催を予定しています）
応募方法●町民サービス課保険年金係の窓口にある応募要領を確認してください
応募締切●４月30日㈭
問合先●北海道後期高齢者医療広域連合
☎011-290-5601

心身に障がいを持つ方の巡回相談を開催します

令和２年度第１回目の道立心身障害者総合相談所職員による巡回相談を開催します。

日時●５月12日㈫・13日㈬ 9：00～17：00
会場●釧路市 サン・アビリティーズくしろ
内容●補装具支給・療育手帳の交付について
申込方法●３月31日㈫までに社会福祉係へ申し込みください。
問合先●福祉課社会福祉係 内線（529）

今月の納税

国民健康保険税 第９期

納付期限 3月31日㈫

納期限は必ず守りましょう！

期限を守らず放置すると督促状が送付され、それ以降も納付されない場合は、税の公平性を保つため、法律に基づき滞納処分（差押）を行っています。

口座振替は納期内に口座から引き去ることができますので、納め忘れがありません。ぜひ、便利な口座振替をご利用ください。またコンビニからも納付可能です。

■今月の夜間窓口
日時●３月25日㈬ 17:00～19:00
会場●役場１階税務課窓口（８番窓口）

問合先●税務課収納係 内線（538）

３月は自殺対策強化月間です

令和元年の全国の自殺者は約２万人です。１日におよそ54人が自ら命を絶っていることになります。自殺を考えている人を救うにはゲートキーパーが不可欠です。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に対して適切な対応（下記①～④）をとる人のことです。ゲートキーパーに特別な資格はありません。私たち一人一人がゲートキーパーになることで、大切な命を守っていきましょう。なお、団体等を対象に「ゲートキーパー研修」も行っていますので、希望する団体等はお問い合わせください。

①身近な人の変化に「気づき」「声をかける」
②相手が話せる環境を作り「傾聴する」
③専門家に「つなぐ」 ④見守る

・こころの相談（介護健康課健康相談係）
・こころの健康相談（釧路保健所☎0154-65-5811）
・北海道いのちの電話（☎011-231-4343）
・相談窓口一覧（https://jssc.ncnp.go.jp/soudan.php）

問合先●介護健康課健康相談係 内線（593）

防災・減災シンポジウムin釧路を開催します

日時●３月12日㈭ 13：00～15：45
会場●釧路市観光国際交流センター ホールＡ
内容●第１部：事例発表（釧路市・浜中町・白糠町）「釧根地域の地震・津波対策の取り組み」
第２部：講演「命を守る」迫り来る千島海溝沿い巨大地震への対応
定員●200人（入場無料）
申込締切●３月３日㈫
申込方法●氏名・所属（会社名）・住所・電話番号を記載の上、メールで申し込みください。
メール●hkd-ky-bousai-mail@mlit.go.jp
問合先●北海道開発局防災課 ☎011-709-2311

広告



北海道消費生活モニターを募集します

道では、消費生活の安定と向上を目的として消費生活モニターを募集しています。

主な職務●
①生活必需品の価格と出回り状況の月例調査
②商品やサービスの表示等調査（年４回程度）
③アンケートへの回答（年２回程度）
④その他、必要に応じて意見等を提出

募集人員●１人
任用期間●令和２年４月１日から１年間
資格●
①町内に居住する20歳以上の方で、生活のための商品等を継続して購入している方
②道が主催する消費生活モニター研修会や地域協議会に出席できる方

謝礼金●月額１，６５０円（予定額）
応募方法●３月６日㈮までに企画財政課地域振興係へ電話で申し込みください。
※応募多数の場合は面談で決定
問合先●企画財政課地域振興係 内線（239）

移動献血車「ひまわり号」が来町します

移動献血車「ひまわり号」が来町します。現在血液が大変不足していますので、献血にご協力をお願いします。

日時と献血場所については次のとおりです。

■３月６日㈮
神明畜産(株)　9：30～12：00
釧路丸水(株)　12：30～13：30
札鶴ベニヤ(株)コイトイ工場　15：00～16：30

※海外から帰国して４週間以内の方や、欧州での滞在経験がある方は、献血制限措置の対象となりますのでご了承ください
問合先●福祉課社会福祉係 内線（529）

歯の健康優良児を表彰しました

２月６日に実施した３歳児歯科健診の結果、３人の幼児が「むし歯ゼロ」で表彰されました。

歯の健康は、毎日の手入れや生活習慣に注意することが大切です。今後も多くの方が受賞されることを期待しています。

受賞者
・関　　之智(ゆきち)ちゃん（竜介さん）
・佐々木優斗(ゆうと)ちゃん（恵太さん）
・阿部　優磨(ゆうま)ちゃん（康行さん）

問合先●介護健康課健康管理係 内線（555）

●白糠町役場 ☎ 01547－2－2171
●庶路支所　☎ 01547－5－2030

町営住宅の入居者を募集します

精神・知的障がいのある方およびＤＶ被害により町営住宅への入居を希望される方は、事前に連絡をお願いします。

申込期間●３月２日㈪～３月10日㈫
申込資格●居住する住宅に困っていること、税金等に滞納がないこと、世帯全員の月額所得が基準内であることなど、条件がありますので詳しくは問い合わせいただくかホームページをご覧ください。
申込方法●役場２階建設課と庶路支所に備え付けてある「町営住宅入居申込書」に必要事項を記入し、次の①もしくは②の書類を添付して申し込みしてください。なお、庶路支所でも申し込みできます。
①町内に居住する方●同居する全員の平成30年分の収入と所得が分かる書類（源泉徴収票など）
②町外に居住する方●同居する全員の住民票、所得証明書、納税証明書
入居時期●４月上旬予定
募集住宅●

■橋北団地

①築S52年	1階3DK	K-10-4	家賃12,900円～
②築S52年	2階3DK	K-10-6	家賃12,900円～

■日の出団地

①築H03年	2階3DK	3F-41-7	家賃19,100円～
②築H03年	3階3DK	3F-41-9	家賃19,100円～
③築H03年	3階3DK	3F-41-12	家賃19,100円～
④築H04年	2階3LDK	HK-1-6	家賃21,500円～
⑤築H04年	2階3LDK	HK-1-7	家賃21,500円～
⑥築H04年	3階3LDK	HK-1-11	家賃21,500円～
⑦築H05年	2階3LDK	HK-2-7	家賃22,900円～
⑧築H06年	2階3LDK	HK-3-6	家賃23,200円～
⑨築H06年	2階3LDK	HK-3-8	家賃23,200円～
⑩築H06年	4階3LDK	HK-3-13	家賃23,200円～

※①～③は風呂釜なし

■共栄団地

①築H13年	2階2LDK	KR-1-3	家賃23,300円～
②築H14年	2階3LDK	KR-2-6	家賃27,500円～
③築H14年	2階3LDK	KR-2-7	家賃27,500円～

■朝日団地

①築H15年	2階3LDK	AR-1-9	家賃25,800円～

※募集住宅については変更となる場合がありますので問い合わせください
※月額家賃は収入基準により異なりますので問い合わせください
問合先●建設課住宅管理係 内線（285）

スポーツ施設、学校開放の利用について

町内スポーツ施設および西庶路コミュニティセンター大ホール、庶路町民センター集会室の定期的な利用を希望する団体は、３月12日㈭までに各利用申請先へ連絡してください。なお、団体の代表者は、代表者会議に必ず出席するようお願いします（代理出席可）。

①スポーツ施設

総合体育館、町民広場、町営球場、武道館、白糠スケートリンク、白糠・西庶路テニスコート

利用申請先●株式会社オカモト ☎2-5345

利用団体代表者会議

日時●３月18日㈬18:00～

会場●総合体育館研修室

②西庶路コミュニティセンター大ホール、庶路町民センター集会室

利用申請先●社会教育課スポーツ推進係 ☎2-2287

利用団体代表者会議

日時●３月17日㈫18:00～

会場●庶路支所附属集会室

■学校開放

学校開放施設の利用開始は５月です。利用を希望する団体は、３月27日㈮までに社会教育課スポーツ推進係 ☎2-2287まで連絡ください。

社会福祉協議会会葬お礼はがき利用料

・土手　靖子さん（西庶路東２南２）9,000円
・三浦　代千子さん（東１北３）9,000円



釧路市西消防署白糠支署 １月末までの活動状況

救急出動件数	**４０件**	**（４０件）**
・急　病		（３３件）
・交通事故		（　３件）
・その他		（　４件）
ドクターヘリ搬送件数	**１件**	（　１件）
火災出動件数	**０件**	（　０件）
その他の出動件数	**５件**	（　５件）

※（ ）内は１月の出動件数

当番病院●救急医療情報案内センター
・一般電話 ☎0120-20-8699（24時間）
・携帯電話 ☎011-221-8699（24時間）

問合先●西消防署白糠支署☎2-2053

水道課からのお知らせ

■水道料金等の納入について

水道料金等の未納が続くと給水停止や滞納処分となる場合がありますので、必ず納期限までに納付してください。納付には便利な口座振替をおすすめしています。手続きは通帳および通帳印を持参の上、町内の金融機関または水道課窓口にお越しください。

■お願い

水道管の凍結や漏水事故防止のため、水道を長く使用しないときは元栓を閉め、水落としをしてください。また水道メーター周辺に荷物を置くなどメーター検針業務の支障になることはしないでください。

■お知らせ

４月１日から民法が改正され、町の給水条例が定型約款の適用を受けることになり、新たに水道を使用する場合は、給水条例を契約の内容とする旨の合意が必要となります。詳細については水道課で確認してください。

問合先●水道課業務係 内線（563）

予防接種クーポン券の有効期限が延長

昭和47年４月２日～昭和54年４月１日生まれの方に、風しんの抗体検査および予防接種のクーポン券を郵送していますが、受診率の低迷により、クーポン券の有効期限が令和３年３月31日まで延長されました。お手元のクーポン券はそのまま使用できます。

※クーポン券を紛失された場合は、再発行できますので、ご連絡ください

昭和37年４月２日から昭和54年４月１日の間に生まれた男性は、風しんの公的な予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低くなっています。この機会にぜひ受診するようお願いします。

※昭和37年４月２日～昭和47年４月１日生まれの方は、クーポン券を４月上旬に郵送する予定です

問合先●介護健康課健康管理係 内線（555）

白糠町森林整備計画書（案）の縦覧

白糠町森林整備計画を変更するにあたり、森林法に基づき「白糠町森林整備計画書（案）」を次のとおり縦覧します。

計画案に意見のある方は、縦覧期間終了までに意見の内容、氏名または名称、住所および意見の理由を記載した書面を町長に提出することができます。

縦覧期限●３月16日㈪まで
縦覧場所●経済課林業係および町ホームページ
問合先●経済課林業係 内線（256）

Notice

令和元年度　白糠町体育協会表彰式

２月16日㊐、社会福祉センターで「令和元年度　白糠町体育協会表彰式」が行われました。この賞は、本町のスポーツの振興に貢献した個人・団体に対して贈られるもので、今年度は次のとおり受賞されました。



【最優秀賞】

松下　一誠君（白小３年・バドミントン）

【優秀賞】

酒井　元気さん（白中３年・柔道）

朝井　風牙さん（庶路８年・陸上、駅伝）

木下　晴楽さん（庶路４年・バドミントン）

【奨励賞】

木下　晴太さん（庶路９年・バドミントン）

小栗　有貴さん（庶路８年・陸上砲丸投げ）

片山　未羽さん（白小６年・陸上砲丸投げ）

長谷華瑠美さん（白小６年・バレーボール）

松下　姫香さん（白小６年・バドミントン）

朝井　亮牙君　（庶路５年・陸上1500m）

對木　一輝さん（白中２年・バドミントン）

長尾　花音さん（白中２年・バドミントン）

對木　隼祐さん（白中１年・バドミントン）

上野　寛生さん（白中２年・柔道）

森　柊生さん（庶路８年・陸上ジャベリックスロー）

髙坂　洸史君　（白小６年・陸上走り高跳び）

廣橋　謙吾君　（白小６年・陸上走り幅跳び）

渡邊　開生君　（白小６年・陸上1500m）

森　希彩さん（庶路２年・陸上ジャベリックボール）

齊藤　永心さん（白中２年・バドミントン）

渡部　竜士さん（白中２年・バドミントン）

【奨励賞（団体）】※大会名は省略しています

白糠中学校・庶路学園野球部～釧路地区中学校体育大会兼北海道中学校軟式野球釧路地区予選大会　**優勝**

白糠陸上スポーツ少年団～釧新杯釧根陸上競技大会小学６年男子４×100mリレー　**優勝**

白糠町柔道スポーツ少年団～全道少年柔道予選大会兼釧路西ロータリークラブ会長杯小学生の部　**優勝**

白糠中学校ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ部～釧路地区中学校体育大会兼北海道中学校ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ釧路地区予選会男子団体　**優勝**

【特別功労賞（個人）】

八重　敏行さん（白糠陸上競技協会）～町体育協会評議員を長年にわたり務めるとともに、白糠陸上競技協会の役員（理事、理事長　積年38年）として本町のスポーツの振興に多大な貢献をされました。

Notice

白糠のアイヌ文化を世界に発信

白糠のアイヌ文化を地域の魅力として情報発信することにより、アイヌ文化への理解を深めるとともに、さまざまな交流を促進し、地域の活性化を図ることを目指して、白糠アイヌ協会の「アイヌ三大祭」をはじめとした、本町のアイヌ文化を紹介する放送番組を制作しました。現在、世界に向けて放送しています。

番組制作は、アイヌ施策推進法に基づく本町の「アイヌ施策推進地域計画」の事業として取り組んでいるもので、アイヌ政策推進交付金を活用しています。



インターネット放送●国際放送番組（英語版）は、日本国際放送のホームページからも視聴できます。

URL　https://www.jibtv.com

※日本語版は、現在制作中の白糠アイヌページ（仮称）で公開予定です。完成までしばらくお待ちください。完成は、来月号の広報紙や町ホームページでお知らせします。

問合先●役場福祉課社会福祉係 ☎ 2-2171（内線531）

Event

古瀬駅さよなら イベント＆セレモニー

列車最終停車日となる３月13日㊎に古瀬駅で「さよならイベント＆セレモニー」を開催します。当日は無料送迎バスを用意します。古瀬駅には駐車場がありませんのでバスをご利用ください。



日時●３月13日㊎

13:00～15:30　さよならイベント

・古瀬駅廃止特製記念品無料配布（数量限定）

・振る舞い立ち食いそば・うどん（限定200食）

・この豚丼販売（限定100食）

14:00～14:30　さよならセレモニー

14:58　古瀬駅発列車（帯広行き）お見送り

古瀬駅発列車（釧路行き）お見送り

無料送迎バス

便	発車時間	発車場所	到着時間	到着場所
１便	12:30	バスターミナル	12:50	古瀬駅
２便	13:30	バスターミナル	13:50	古瀬駅
３便	13:50	古瀬駅	14:10	バスターミナル
４便	15:15	バスターミナル	15:35	古瀬駅
５便	15:40	古瀬駅	16:00	バスターミナル

問合先●町民サービス課交通対策係（内線519）

Notice

児童館においでよ

■やまびこ児童館 ☎ 2-2081

・３日㊋ ひなまつり

・10日㊋ 避難訓練

・11日㊌ 放課後クラブ誕生会

・12日㊍ 宝探しゲーム大会

・16日～21日　制作活動

・26日㊍ 放課後クラブお別れ会

■ふれあい児童 ☎ 5-4006

・３日㊋ 避難訓練

・９日～14日 新１年生プレゼント制作

・25日㊌ 放課後クラブ誕生会

・27日㊎ 放課後クラブお別れ会

Book

新着図書情報

■一般よみもの

・山岳捜査（笹本稜平）

・卍どもえ（辻原登）



■絵本

・ちらしずし　・おれ、よびだしになる

問合先●公民館図書室 ☎ 2-5555

知らぬかった！白糠

広報しらぬか1000号記念





広報しらぬかができるまで

毎月、皆さんの元へお届けしている『広報しらぬか』が創刊されたのは町制が施行された昭和25年11月1日、その70年後となる今年、1000号を迎えました！とは言っても、1年12回の発行で70年の計算だと840号にしかならないはずなのですが、調べてみると、月に2回発行していた時期もありました！なるほど納得！

そこで今回はこの『広報しらぬか』が毎月どのように作られているのかをご紹介します。

現在、広報の制作を担当しているのは「企画財政課地域交流係」。以前は「総務課広報統計係」という名称でした。いろいろな地域に出て行って皆さんとの交流を広げ、町の話題を集めることを目的にするということで平成8年の機構改革の際に現在の係名になりました。

広報紙の編集は基本的に職員2人で行っています。そして、私は広報支援員（非常勤職員）として、この「知らぬかった！白糠」などのページを担当し、広報紙の作成に携わっています。

職員は記事の題材選びや取材、写真撮影、文章作成はもちろん、パソコンのデザインソフトを使用し、紙面のレイアウトやデザインも全て行っています。土日や祝日はイベントがあるので撮影に出かけることもあります。

本紙を作る手順としては、毎月初めに役場の各担当係から「暮らしの情報」や「掲示板」などに掲載する記事を募集し、内容によって掲載枠を決めていきます。

「特集記事」は、皆さんに興味を持って読んでもらえるのはどんな記事だろうと毎月アイデアを出し合いますが、一度で決まることは少なく、アイデアが出ない時は口数も減ります（笑）

テーマが決まれば、そこから取材の開始です。テーマに関わる情報収集や、関係者にインタビューをして、記事にまとめていきます。

原稿がほぼ出来上がったところで、職員間でのチェック（校正作業）を行い、毎月20日前後に印刷会社に原稿を送り（入稿）、同日夕方に印刷会社が持ってくる仮印刷したもの（刷り）で最終チェックを行います。そして、印刷・製本され、毎月25日の朝に完成したものが届き、それを発送、配達しています。

広報を月に2回発行していた頃は、ワープロもパソコンもなく、全て手書きで、カメラもフィルムという時代でしたので、その頃に比べると本当に便利な時代になったと思います。

しかし、まだ苦労はあります。行事やイベントの取材は毎年決まったものもありますが、ここ数年、一番大変なのが花火大会の花火の撮影です。真っ暗な中で次々と揚がる花火の撮影にはそれなりのテクニックが必要なのですが、1年に1度しかないため、いつも緊張しながらのぶっつけ本番です。暗がりでひたすらシャッターを押し、あとで確認すると、使える写真がほとんどないという事態も起こります。そんな苦労もあるということを知って花火の写真を見ていただけるとうれしいです（切望）

そして、表紙の写真については「笑顔」をテーマにしています。町の皆さんの笑顔を撮るべく、必死にカメラをかまえていますので、ぜひ笑顔で撮影にお応えいただけたらと思います。



「楽屋オチ」って誰が書いてるの？

毎号の最後にある「楽屋オチ」が始まったのは平成5年5月。編集担当が唯一、自分の名前（イニシャル）で書く枠です。それまでは「コーヒータイム」という名の編集後記でした。

知らぬかった！白糠

Iここからは、これまで『広報しらぬか』の編集を担当していた歴代職員の思い出やエピソードのご紹介です。現役で一番古く、最も長く担当していた**現・地域防災課のKさん**の思い出からです。

◆現・地域防災課K（H8年まで）

昭和60年春から広報担当になり、結果足掛け13年、毎月1日と15日の月2回広報紙を発行しました。

一番思い出深い記事は、千葉前町長が月2回休まず連載した「まちづくりの提案」という1ページの寄稿文です。取り組んだまちづくりが、情勢の変化によって変容してしまった経過や結果を自らの筆で綴りたいと始まりました。それを読んだ新聞記者が「凄いですね。あれは町長が毎回書いてるんでしょ」と褒めます。それと同時に「あの挿絵のイラスト、おもしろいけど、怒られないの？」と心配の声。本文が重々しく見えないよう、毎回、コメディ要素を加えた町長の挿絵を私が描いていました。絵が目立ち過ぎぬよう薄墨風にするなど気を配りました。

原稿は使用済みのコピー用紙の裏紙に直筆で流れるような文字で書かれていました。毎回苦労をして書き起こしますが、読めない文字や難解な言い回しが出るたびに、冷や汗をかきながら町長に質問すると「何だ、読めないのか？」とフリガナを書き加えて原稿用紙を返されました。

この原稿を担当したことがきっかけで、町史や『叢書（そうしょ）しらぬか』などを読みあさり、たくさんの町民とお話し（取材）をしました。広報の仕事って笑顔で住民とお話しするから面白いって感じました。今となっては良い財産です。



▲当時の挿絵です

◆現・水道課K（H3年まで）

役場奉職後初めての仕事。わずか1年ですが当時月2回発行で24回携わりました。フィルム写真に手書き原稿と感慨深いものがありますが、やはり私も千葉町長直筆の達筆過ぎる原稿が一番の思い出。若輩者には解読できませんでした。

◆現・総務課N（H10年まで）

締切日に追われる日々、名前は伏せますが、諸先輩方からの息もつかせない叱咤（しった）激励を浴びながら作業していたことを思い出します。担当はこれからも締切日に追われて楽屋オチを考えるのかな～。

◆現・議会事務局I（H17年まで）

「読んでもらえる広報に」と悩みながら10年間担当した。その間、パソコンやデジカメの出現、編集ソフトの導入など、作業は多少楽になったものの「センス」が物をいう。今後も読まれる広報づくりにエール。ガンバレ2000号！

◆現・経済課M（H21年まで）

約100号分を制作した中でお気に入りだったのは『白糠の人に会いたい』。2～3時間のインタビューとその人の想いを1ページに凝縮する作業。大変だったが楽しかった。異動後は楽屋オチのプレッシャーから解放された(笑)

◆現・税務課M（H26年まで）

平成21年から5年間、いろいろな現場を取材しましたが、中でも食生活改善推進員さんによる料理講座では、取材後に試食をさせていただいたのですが、薄味の料理に慣れていなかったため、しょうゆを掛けようとして、注意されたのを覚えています（笑）

◆現・総務課S（H27年まで）

職場や外勤先で楽屋オチを褒められたときや、新聞に自分が撮った写真が大きく載ったときのうれしさは今でもしっかり覚えています。広報しらぬかの1000号という長い歴史の一部を紡ぐことができたことを誇りに思います。

◆現・地域防災課W（H31年まで）

一番の思い出は人生初の海外旅行となった台湾出張。カメラのバッテリーがすぐに消耗してしまうほどの超炎天下の中、フラフラになりながらも、会場のグラウンドを駆け回りました。倒れずに最後までカメラを構え続けたあの時の自分を褒めてあげたい。

I最後はヨコ読みで…

◆現・庶路支所SS（H8年まで）

おおいなる町のかがやく未来を**め**ざして一歩ずつ歩み続ける中**で**きてみなさんに読まれる広報**と**うとう千号発行の偉業を達成**う**れしいです！！元担当としてI諸先輩の思いを引き継ぎ、これからも愛される広報紙にしていきたいと思います。現担当ＳＴＮ

久遠塾

君の世界に芽生えるものは

vol.09



塾長　上内（かみうち）　智英（ともひで）

連日マイナスの気温が続いている白糠ですが、暦の上では春、新春がスタートしています。久遠塾がオープンして1年と8カ月。今回はこの間の久遠塾の変化と、これからの久遠塾についてお話ししたいと思います。

放課後スペースの活用

昨年4月から「公民館スペース」に加えて、白糠高校内「放課後スペース」の2カ所で久遠塾の活動ができるようになったことはすでにお知らせしました。久遠塾を「もっとたくさんの生徒の皆さんに気軽に利用してもらえたら」という思いで始めたこの取り組みは、白糠高校の先生方の協力で実現しました。

いざ始まってみると、隙間の時間を上手に利用する生徒が多いことに気づきました。部活動に行く前、学校の授業の小テスト前、漢検・数検などの検定前など。1問を解きに来る、聞きたいところを聞きに来るというスマートな利用方法が多かったのです。そこで来年度は、この短い時間、隙間の時間をさらに有効に活用してもらうため、学校の昼休みの時間も開塾できるよう進めていく予定です。

「継続と進化」のゼミ授業

今年度、全8回開催してきた「地理っ子クラブ」。1月31日はALTの2人をゲストに迎えて行いました。高校生、白糠高校の先生方、そして町民の方にも参加していただき、楽しみながらイギリス・アメリカ合衆国についての理解を深めました。今回は司会進行役を高校生が務め、ゲストの2人と協力して作り上げたゼミ授業になりました。

●白糠高校2年　渡邊春冬（はると）さん



自分にとって、司会進行役を務め、発表することができたことはとても貴重な体験でした。発表前の準備で、外国の方と一緒に話しながらできたことがとてもよかったです。ヨーロッパに興味があるので、次はポーランド・ドイツのことを講座で取りあげてほしいです。

2月4日、白糠高校出身でレストラン「クオーレ」のシェフ、漆崎雄哉さんを招き「白糠の仕事人」を開催しました。漆崎シェフから仕事観・人生観について語っていただきました。

●白糠高校1年　石川星奈（せいな）さん



クオーレのことは知っていましたが、白糠高校を卒業した先輩がシェフをしているのは、今回初めて知りました。当日は緊張しましたが、漆崎さんが優しかったので、リラックスしてお話を聞けました。お店で出しているお菓子をいただきました。とてもおいしかったです。

どちらのゼミ授業も、回数を重ねるうちに、高校生の「知りたい、聞きたい、やってみたい」を形にして発表できる場へと変化していきました。

来年度のゼミ授業はこの流れを汲みながら、さらに進化させて、高校生と町民の方が交流しながら学びを深められる場になればいいなと思っています。

★今後のゼミ（会場・久遠塾　公民館3階）

●3月13日㊎（2講座同日開催）

①志らゼミ　18:15～19:15

②美文字講座　19:30～20:30

●3月19日㊎

③久遠塾座談会　18:15～19:15

※②と③は町民ならどなたでも参加できます。

問合先●久遠塾　☎080-2182-1379

13:00～21:00（平日）

地域おこし協力隊がゆく

ぬかづけ日記 連載⑦

白糠町のＰＲのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊
キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
結婚情報誌「ゼクシィ」、転職情報サイト「doda」などの広告制作、タイ国政府観光庁発刊ガイドブック作成などの企画・編集に携わっていた。2019年４月から白糠町の観光をＰＲする地域おこし協力隊として着任。趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

■北田純子ブログ
「シラヌカＡtoＺ」
https://shiranuka.wixsite.com/atoz

年明け最初のイベント 恋問館初売り

１月３日（金）に恋問館の初売りが開催され、私は外の福引きコーナーでお手伝いさせていただきました。当日は早朝から多くの方にお集まりいただき、寒いながらも活気いっぱいでした！皆さん、お目当ての品は手に入りましたか？福引きでは、最後まで一つ残っていた一等の毛ガニが、最高にラッキーな男性に当たりました。う～ん…うらやましいこと山のごとしです。小さいお子さんを連れた家族も多く、素晴らしい晴天にも恵まれ、楽しい初売りとなりました。

白糠の美味が楽しめるイベント「味技フェス」

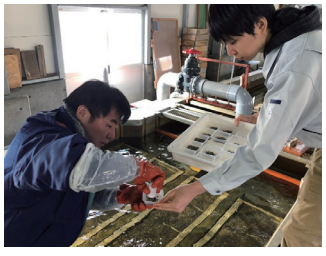
１月19日（日）開催の味技フェス。今年は10チームがエントリーし、白糠の素材を使用して料理を作りました。私は今回が初参加。作るお料理は各チームで異なるのですが、どれもみんなおいしくて驚きました！（もちろん全種類食べましたよ～）来年はもっと多くの方に白糠の食と食材の魅力を知っていただけるよう、町外に向けてＰＲしたいと考えています。

大人の社会科見学 シシャモの「ふ化場」

１月下旬に「庶路川ししゃも人工ふ化場」を見学させていただきました。この日は月に一度の検査の日で、12月に産まれた卵の状態確認を行うとのこと。

私は移住後、本シシャモに接する機会は増えましたが、卵は今回、初めて見ることができました。館内にはシシャモの生態や漁に関するパネルもあり、まさに大人の社会科見学という趣で非常に楽しかったです。

実は私、白糠ファンを増やすための観光周遊ツアー企画を立案中で、まだアイデア段階ですが、ふ化場見学を周遊ツアーに組み込めたら…と思っています。モロッコ料理研究家のＰ・ウォルファートは「食は人間を理解するための手段」と言っていますが、非常にシンプルかつ的を射た言葉だと思います。今、都市部の人の多くは「その土地の歴史・文化・自然を感じられる食に触れたい」と思っています。白糠でシシャモが育つさまに触れられる体験を提供することができれば、他の産地とは異なる魅力、他にはない大きな武器を先んじて手にすることができるのでは…と考えています。



秋に捕獲されたシシャモの一部は「ふ化場」に運ばれ、底の砂利に卵を産み付けます。

ひとのうごき　令和2年1月31日現在

◆ 人口　7,700 人（▲10 人）
　男　3,601 人（▲ 4 人）
　女　4,099 人（▲ 6 人）
◆ 世帯　4,101 世帯（　0世帯）
※（　）は前月比

戸籍のまど

おめでとう

今月の出生届けはありませんでした。

おくやみ

東１南４　吾妻興八さん（８３歳）
東３北２　小山　力さん（８６歳）
東１北２　堀　弘美さん（６３歳）
西１北１　髙原眞知子さん（７０歳）
東１北３　三浦節朗さん（８５歳）
西・東3北1　鍛冶信子さん（９２歳）
西・東1北2　後藤美津江さん（９３歳）

1月16日～2月15日の届出で承認をいただいた方のみ掲載しています。

白洋大学の入学生を募集します

白洋大学は、60歳以上の町民の方ならどなたでも入学できる大学です。大学では、高齢期を豊かに過ごすための知識や教養を学ぶ集合学習会をはじめ、軽スポーツ大会や他町村の高齢者大学との交流会、社会見学などを行うほか、学生の自主活動として民謡・大正琴・コーラス・健康ダンス・フロアカーリング・健康麻雀・カラオケなどの部活動も行っています。



白洋大学での学びを通して、教養を深めたり新しい趣味を見つけるなど、仲間とともに生きがいづくりをはじめましょう。気軽に参加してください。

入学資格●60歳以上の町民
※60歳未満でも予備生として入学できます
年間運営費●1,000円 ※別途教材費が必要な場合あり
申込方法●社会福祉センターで配布する入学願書に必要事項を記入し、３月23日㈪までに提出してください。
開講式（予定）●４月15日㈬ 10：00～
会場●社会福祉センター
問合先●社会福祉センター ☎２－２２８７

楽屋オチ

◆広報しらぬかが1000号を迎えました。これも皆さんのご協力のおかげです。◆メインページの編集で頭がいっぱいだというＴ君の代わりに◆普段はとても穏やかなＴ君ですが、仕事で煮詰まるとクールな毒舌家に変貌します。それを私は「裏Ｔ」として楽しんでいます◆そんなＴ君、実はおいしいものがお取り寄せ好き。チョコや紅茶などその時々ではまっているものがあるようです。おいしいもの食べたいなぁ。代わりにここ書いてあげたんだけどなぁ.◆受験生の娘のために「オチ」が書けないと言い訳をするＳ係長の代わりに◆1000号記念号は楽しんでいただけましたでしょうか。写真ページに使う昔の記事を探すため創刊号から見直す中、記事に年代ごとの問題が垣間見られ、とても興味深く読みました。◆少年の「非行」が問題になった昭和50年代。私はまさにその時代の中学生、非行には走りませんでしたが、今と変わらずそこそこ生意気でした。が、高校受験には「オチなかった」ことを係長のため、ここに報告しておきます（Nっち）

サンアリーナしらぬか通信

温水プール　春休み短期教室の申し込みがスタート！

■３日間集中コース～選べる３つのコース！
子どもの泳力に合わせ、コース形式で指導します。
日時●３月25日㈬～４月５日㈰のうち３日間
いずれも 10：30～11：45
コース●ペンギンコース：水慣れ～面かぶりキック５ｍ
アザラシコース：面かぶりキック６ｍ～クロールの息継ぎ
イルカコース：背泳ぎ～個人メドレー
対象●３歳～中学生まで
料金●3,600円（税別）

■ひみつの特訓～コーチとマンツーマンでレッスン！
マンツーマン形式なので、泳力の向上間違いなしです！
日時●３月25日㈬～４月５日㈰
いずれも 12：00～16：30までの時間帯で１回30分
対象●３歳～中学生まで
料金●１回2,000円（税別）
問合先●温水プール ☎２－３２７２

3月くらしのカレンダー

1 日	・白糠高校卒業式
2 月	・こころの相談 13:00～役
3 火	
4 水	・第１回定例議会 10:00～役
5 木	・母子健康相談 10:00～保 ・４ヵ月児、９～10ヵ月児健康診査 13:00～保 ・ふるさとブックスタート 13:00～保 ・初心者バドミントン教室③ 19:00～総
6 金	・千鳥かでる会健康相談 10:00～西庶路信和集
7 土	・第26回チャンピオンピックin白糠 8:45～総 ・白糠町スポーツ少年団本部冬季交流会 13:00～総
8 日	
9 月	
10 火	・日の出ふれあいクラブ健康相談 10:00～日の出集 ・ふまねっと教室 13:30～コ
11 水	・ママ♥こっこ広場 10:00～保 ・２歳児健康相談 13:00～保
12 木	・四ツ葉クラブ健康相談 13:00～中庶路集 ・初心者バドミントン教室④ 19:00～総
13 金	**・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日** ・茶路小中、白糠中、庶路学園卒業式 ・古瀬駅さよならセレモニー 13:00～古瀬駅詳25ページ ・ふまねっと教室 13:30～保
14 土	
15 日	・第41回白糠町ロードレース大会 9:45～総
16 月	
17 火	
18 水	・白洋大学閉講式、部活動発表会 10:00～社 ・二葉幼稚園卒園式
19 木	・初心者バドミントン教室⑤ 19:00～総 ・白糠小学校卒業式
20 金	**・春分の日**
21 土	
22 日	
23 月	・こころの相談 13:00～役 ・庶路こども園、白糠保育園卒園式
24 火	・ふまねっと教室 13:30～コ
25 水	・夜間納税窓口 17:00～役詳21ページ
26 木	
27 金	**・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日** ・ふまねっと教室 13:30～保
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	

役役場庁舎　社社会福祉センター　保保健センター　公公民館
コ西庶路コミュニティセンター　庶庶路町民センター　支庶路支所
総総合体育館　温温水プール　集集会所　PG パークゴルフ場
ややまびこ児童館　ふふれあい児童館　子子育て支援センター
詳詳細内容の掲載先ページを表す

白糠町ロードレース大会

３月15日（日）
10時～12時
（開会式９時45分～）

選手の安全確保のため車両の通行は自粛願います



主催／白糠陸上競技協会
皆さんの理解と協力をお願いします

白糠町役場

〒088-0392 北海道白糠郡白糠町西１条南１丁目　TEL 01547-2-2171　FAX 01547-2-4659
メール tantaka@town.shiranuka.lg.jp　ホームページ https://www.town.shiranuka.lg.jp

広報しらぬか ③
2020（令和２年）
No. 1000

間伐で未来につなぐ北の森
広報しらぬかは道内産の間伐材で作られた紙を使用しています





楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー
2019ふるさと納税賞受賞
道内から初!!

国内最大級の通販サイト「楽天市場」に出店する約４万９千店の中から、その年の優れた店舗を決める「ショップ・オブ・ザ・イヤー２０１９」で、本町が道内初となる「ふるさと納税賞」を受賞しました。

同賞は２０１６年より新設された賞で「楽天ふるさと納税」に出店する約８５０の自治体の中から、年間寄付額や寄付件数、成長率、客対応を基準に毎年３自治体に贈られているものです。２０１９年は本町のほかに、山形県寒河江市が、ふるさと納税大賞には宮崎県都城市が選ばれました。

授賞式は１月28日、東京都のグランドプリンスホテル新高輪で行われ、棚野孝夫町長と企画財政課の佐々木康行参事が出席しました。棚野町長は「町の素晴らしい産物が、ふるさと納税という制度を通じて、大勢の方に周知することができ、また、評価もしていただきました。大変うれしく思っています」と話していました。



本町のふるさと納税は２０１５年10月に開始しました。16年度は８億円、17年度は18億円、18年度は、18万人の方から32億円の寄付をいただきました。寄付件数、寄付額が増えても当初から変わらず意識していることは、寄付者様を「18万分の一」として接するのではなく「一対一」としての対応を大切に行うということです。そういう面からも本町のファンになっていただけるように、最善を尽くしていきます。





発行日／令和2年2月25日（月1回発行）
発行／白糠町　編集／企画財政課地域交流係